

≪「報告書詳細版」は巻末の付録USBメモリに収録しています≫

第22部

WIDEネットワークの現状(概要版)

遠峰 隆史、近藤 賢郎、TWO WGメンバー

第1章 はじめに

WIDEバックボーンネットワークは国内はもとよりSan Francisco, Bangkok など海外にも拠点(NOC, Network Operation Center)を持つ広大なレイヤ2およびレイヤ3ネットワークである。WIDEバックボーンネットワークは各接続組織の対外接続ネットワークとして活用されるだけではなく、インターネットの新技术を開発している研究者、開発者らの新技术の運用実験の場としても頻繁に活用されている。

WIDEバックボーンネットワークの運用はTwoワーキンググループに参加する各NOCの運用者による定常的な運用に支えられている。図1は2017年12月31日現在のWIDEバックボーンの概略図である。

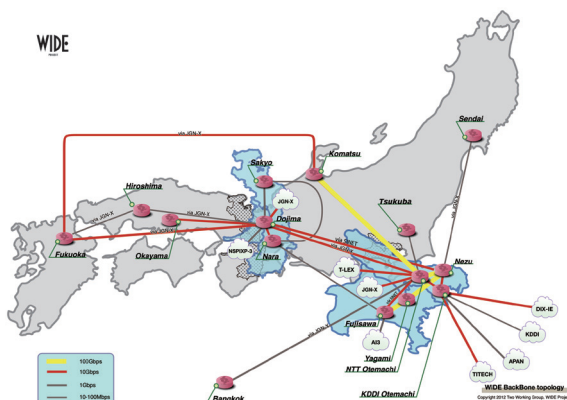


図1 WIDEバックボーントポロジ

第2章 本年度の活動

本年度は昨年度実施したバックボーンネットワークの一部100Gbps回線化を踏まえ、100Gbps、10Gbps回線に基づくWIDEバックボーンの運用を行った。

2.1 NOC Update

昨年度までに実施したNTT大手町NOC、根津NOC、矢上NOC、藤沢NOC間回線、小松NOCへの接続回線の100Gbps化を踏まえ、100Gbpsバックボーンの安定運用に努めた。それに付随する機材や回線のアップデートを行った。その他の各拠点は、例年通り安定運用を行った。詳細に関しては、報告書詳細版を参照していただきたい。

第3章 来年度の活動予定

来年度は、100Gbpsバックボーンの運用実験に加え、CSIRTなどのセキュリティ体制の構築および強化を推進する予定である。